

令和4年度 第1回総合隣保館運営委員会次第

日 時 令和4年4月15日（金）

午後7時00分～

場 所 総合隣保館

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

(1) 令和3年度 総合隣保館事業実施状況

(2) 令和3年度 総合隣保館事業利用状況

4 協議事項

(1) 令和4年度 総合隣保館運営方針（案）について

(2) 令和4年度 総合隣保館事業計画（案）について

5 その他

6 閉 会

総合隣保館運営委員会委員名簿

(委員長) 小林 伶子

(副委員長) 岡本壽美子

No.	区 分	名 前	推薦者
1	教育関係者	小紫 達矢	校長会
2	社会福祉関係者	山内 邦和	団 体
3		春川 政信	団 体
4		西本 公仁	団 体
5		齊藤 幹雄	団 体
6		森田 元三	団 体
7		小林 誠	団 体
8		小林 伶子	学識経験者
9		関係行政機関の職員	安福 昇治
10	公募による者	岡本壽美子	公 募
11	〃	岡田 洋子	〃
12	〃	高橋 幸枝	〃
13	〃	畑中 麻実	〃

任期：令和3年6月1日～令和5年5月31日

令和3年度総合隣保館事業実施状況

1 総合隣保館運営委員会

回	開催日	審議内容	出席人数
1	4月13日	(1) 令和2年度総合隣保館事業実施状況について (2) 令和2年度総合隣保館利用状況について (3) 令和2年度総合隣保館事業における成果と課題 (4) 令和3年度総合隣保館運営方針(案)について (5) 令和3年度総合隣保館事業計画(案)について (6) その他	9人
2	6月25日	(1) 令和3年度同和教育セミナーについて (2) 令和3年度人権フォーラムの開催について (3) 第38回総合隣保館文化祭について (4) その他	12人

2 相談事業

地域住民の健康の増進と生活上の相談に応じるとともに、適切な指導・助言を行うことにより生活の社会的、経済的向上を図ることを目的として実施した。

相談事業の開催状況

区分	内容	人権相談の内訳(20件)	
隣保館職員	・人権相談	20件	<ul style="list-style-type: none"> ・同和問題 件 ・女性 件 ・高齢者 件 ・子ども 件 ・外国人 件 ・生活 20件 ・障がい者 件 ・その他 件
	・福祉相談	0件	
	・教育相談	0件	
	・職業相談	0件	
	・生活相談	0件	
	・その他相談	0件	
	小計	20件	
商工会議所派遣職員	・経営相談	65件	
	・税務相談	61件	
	・金融相談	1件	
	・労働相談	1件	
	・経理相談	0件	
	・その他相談	0件	
	小計	128件	
計	148件		

3 地域福祉事業

あらゆる人権問題の速やかな解決を図るため、各地区（集会所）等において福祉の増進、生活の向上をめざした事業を実施し住民の自立を支援した。

事業名	事業内容	実施回数	参加人数
革細工教室 (吉田)	革かばんづくり	1回	10人

4 啓発広報活動事業

あらゆる人権問題に対する理解と認識を深め、その解決に資するため、自主的に研修する市民の集いとして、人権フォーラム等各種講演会を開催するとともに、啓発広報活動として広報誌を発行した。

(1) 啓発活動事業

ア 同和教育セミナー(中止)

広く市民が同和問題を正しく理解し、同和問題解決のために必要な知識を得る研修の場として例年6月に3回実施しているが、新型コロナウイルス感染対策のため、延期していたが、やむをえず中止した。(※令和4年6月10日、17日、24日実施予定。一部講師調整中)

開催日	講師
1月21日(金) 18:30~20:00 教育センター	「全国水平社創立100周年の歴史的意義」 リバティおおさか 大阪人権博物館長 朝治武さん
1月28日(金) 18:30~20:00 吉川町公民館	「部落差別とは」～隠された歴史の中で～ 全隣協近畿ブロック協議会参与 中尾由喜雄さん
2月4日(金) 18:30~20:00 教育センター	「差別意識とは何か」 関西学院大学講師 日野謙一さん

イ 人権フォーラム

あらゆる人権問題について、身近な市民の方が願いや意見、体験を発表することにより、お互いにふれあいを図るとともに、認識を深めることで、市民の人権意識が高揚することを目的として実施した。

実施日	発表者	参加人数
10月19日(火) 18:30～ 総合隣保館	作文朗読「なくそうよ、チクチク言葉」 口吉川小学校4年 藤枝旺汰さん 作文朗読「幸せ」の基準 三木特別支援学校PTA 藤岡貴志さん 「想いをつなぐ」 三木市手をつなぐ育成会理事長 長田幸恵さん 「ご縁に感謝して」星陽中学校PTA 萩原美香さん	121人
10月22日(金) 18:30～ 吉川町公民館	作文朗読「迷惑」吉川中学校3年 中西ほのかさん 「着物と私と人権と…」人権擁護委員 藤田加代子さん 「豊かな学びをめざして」 星陽中学校 教育事業担当 時本寛史さん 「ふるさとを愛し夢を育む学校づくり」 吉川小学校長 長谷川珠里さん	105人
10月26日(火) 18:30～ 総合隣保館	作文朗読「きつ音について」 口吉川小学校6年 稲見悠さん 「子どもたちの姿をとおして」 あけぼの認定こども園長 藤原和則さん 「100歳の父と暮らして」 更生保護女性会細川支部長 北田和代さん 「このごろ思うこと」 森田栄一さん	118人
計		344人

ウ 文化祭記念講演会等

12月の人権週間に実施する意義と大切さを伝える場として、また、あらゆる人権問題について感性に訴え、人権意識の普及、高揚を図ることを目的として実施する。本年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、市民活動センターで実施した。

・記念講演

『差別しない社会にむけて～水平社100年を展望して～』

関西大学人権問題研究室委嘱研究員 宮前千雅子さん

エ 総合隣保館視察研修会（フィールドワーク）

同和問題をはじめとする人権問題について、知識と見識を深め人権感覚を磨く場として、実施している。新型コロナウイルス感染対策のため、やむをえず視察研修会(10月実施予定分)は中止した。

視察研修会（中止）

開催日	行き先	出席人数
10月2日(土) 9:30～17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・たつの市立 総合隣保館 *講話 テーマ「部落差別解消推進条例制定後のたつの市について」 *フィールドワーク *革細工体験 	人

フィールドワーク

開催日	行き先	出席人数
3月26日(土) 8:30～17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良水平社博物館～水平社創立100年に思いを馳せ、部落解放運動に立ち上がった青年の思いに学ぶ。 *館内見学 *フィールドワーク（水平社博物館周辺） 	22人

オ 図書 の 充 実 と 利 用

- (ア) 貸出冊数 56冊
- (イ) 貸出人数 18人
- (ウ) 購入冊数 18冊（一般 0冊、子ども18冊）

(2) 広報活動事業

ア 隣保館だよりの発行

- (ア) 発行部数 毎月発行4,600部
- (イ) 配付先 市内全自治会（回覧）、公共施設、各支部等

イ 啓発冊子「しあわせに生きる」の発行

- (ア) 発行部数 1,000部（年1回）
- (イ) 配付先 各種団体代表、教育機関、公共施設、各支部等

ウ FMみっかい「じんけん・こころの小窓」での広報活動

エ 部落差別解消推進パネルの啓発展示（兵庫県隣保館連絡協議会作成）

- (ア) 展示期間 令和4年3月1日～3月31日
- (イ) 展示場所 三木市立中央図書館

5 教養文化及びその他に関する事業

地区住民の教養文化の向上と生活改善を図るとともに、周辺地域住民の参加により交流を促進することによって、人権・同和問題の解決を図った。

(1) 教養文化講座

2月末現在

在

	教室名	実施回数	延べ参加人数	指導者	備考
1	手芸教室	12回	58人	嶋田千津子	月2回
2	茶道教室	23回	69人	杉本さわゑ	月3回
3	書を楽しむ きらきら 書道教室	8回	100人	藤原常貴	月1回
計		43回	227人		

(2) 生活講座及び教養文化講座関連事業

事業名	実施日	内容・講師	参加人数
フラワーアレンジメント教室	12月28日(火) 17:30~19:30	テーマ「新春を生ける」 (講師)田中真紀	20人
	2月25日(金) 19:00~21:00	テーマ「おひなさま」 (中止) (講師)田中真紀	人
計			20人

(3) 子ども教室

幼稚園児、小学校低学年を対象にさまざまな体験をとおして、明るく、たくましく、やさしい心を育むことを目的に実施した。

ア 夏休み子ども教室

8月2月~6日(5日間)実施した。8月23日~27日は、緊急事態宣言により中止した。

イ 子ども教室

物づくりに興味を持たせるとともに、体力づくり、知的好奇心の高揚、交流による仲間づくりをとおして人権感覚を培うために実施した。

教室名	実施回数	述べ参加人数	指導者	備考
土曜子ども教室	10回	102人	館職員	主に第2・4土曜日
交流ハイキング	1回	15人	館職員	3月25日
計	11回	117人		

(4) 総合隣保館文化祭

豊かな人間関係と人権を大切に作る共生の社会を築き、共に人権文化を創造していくことを目的とし、多くの人々が人権と差別について学び、交流する文化の祭典として、本年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、例年より規模を縮小した形で、総合隣保館及び市民活動センターで実施した。

開催日	審議内容	出席人数
12月5日(日) 13:00~15:30 市民活動センター	開会行事 オープニング RASH(ダンス)発表 テアトロ三木(人権朗読劇)発表 記念講演 「差別しない社会にむけて一水平社100年を展望して」 関西大学研究員 宮前 千雅子 さん	208人
12月1日(水)~ 5日(日) 9:00~21:00 (5日9:00~16:00) 総合隣保館	・隣保館関係団体による作品展示 ・人権クイズラリー	244人

6 社会調査(高齢者単独世帯への訪問活動)

地域の事情を的確に把握し、福祉の向上につなげるため、高齢者世帯への訪問・面談を実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、電話等で対応した。

7 所蔵図書の整理について

館で所蔵している図書について、データベース化作業を実施している。すべての読み取り作業を終え、検索できるシステムの試作品を研究中。

8 その他

隣保館改修工事(令和3年度繰越)

① 屋上防水改修工事

令和3年2月26日開始 令和3年4月7日完成

補助対象総工事費 5,445,000円

国 2,222,000円

県 1,111,000円

市 2,112,000円 負担

② 空調設備改修工事

令和3年6月25日開始 令和3年8月25日完成

補助対象総工事費 13,948,000円

国 6,965,000円

県 3,483,000円

市 3,500,000円 負担

令和3年度総合隣保館事業の成果と課題

1 総合隣保館運営委員会

○成果

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、やむをえず事業の中止等あったが、会場を分散する等、工夫した企画など活発な意見が出た。

●課題

現在もなお感染者が増加しており、今後も新型コロナウイルスの状況が不透明であることから、来年度に向けて事業をどう進めるかを引き続き検討する必要がある。

2 相談事業

○成果

相談者のニーズに応えることができ、「相談してよかった」等の言葉をいただいている。相談者は満足されている様子が伺えた。

●課題

多様化する人権相談に対応するために相談員のスキルを高めることが必要。隣保事業士の研修を積極的に受けるとともに課内人権研修に力をいれて相談体制のさらなる充実を図る。館職員と来館者が交流を深め、困った時には、いつでも気軽に相談が出来るような雰囲気づくりを心がけることが重要である。

3 地域福祉事業

○成果

新型コロナウイルス感染対策を講じながら、一部事業を実施することができた。

●課題

引き続き新型コロナウイルス感染対策を講じながら、地元と協議し、来年度に向けて事業をどう進めるかを引き続き検討する必要がある。

4 啓発広報活動事業

○成果

コロナ禍にもかかわらず、人権フォーラムや総合隣保館文化祭等の催しに見込んでいた以上の参加者があった。参加者の密を避けるために、一部リモート開催にするなど工夫して開催することができた。

隣保館だより等の記事に反響があり、市民から感想が寄せられるなど啓発の効果があらわれている。

●課題

引き続き、市民を巻き込みながら、同和教育セミナー、人権フォーラム、文化祭記念講演会等の学びの場の提供を積極的に行い、「人権尊重のまちづくり」のための啓発拠点として活動の強化を図る必要がある。

5 教養文化及びその他に関する事業

○成果

地域住民のつながりを創出することができている。子ども教室は、さまざまな体験をとおして、交流による仲間づくりができた。

●課題

少子高齢化により、主催講座の講師高齢化及び参加者が減少傾向となっている。今後、新たな講座の企画、人材の確保等、検討が必要。

6 社会調査(高齢者単独世帯への訪問活動)

○成果

本年度は、新型コロナウイルス感染対策を講じ、高齢者世帯への訪問ではなく、電話等で実情把握を行った。関係機関と連携を図りながら実施している。

●課題

新型コロナウイルス感染対策を講じながら、対象者が高齢であるため、今後も十分な検討を加えて実施していきたい。

7 所蔵図書の整理について

○成果

隣保館の人権関係の図書は充実しているが、多くの来館者の希望に沿えるよう、毎年中央図書館より図書（一般書、絵本等）を借用し、閲覧、貸出できるようにしている。また、夏休みの課題図書を購入し貸出を行うので、子どもの利用促進にもつながっている。

館で所蔵している図書のデータベース化作業が完了している。

●課題

データベース化の完了に伴い、コンピューターでの本の検索や管理を行うシステムを試作している途中である。

8 まとめ

本年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、やむをえず事業の中止等あったが、会場を分散する等、工夫しながら事業を実施することができた。

同和問題をはじめ、新型コロナウイルス感染者、医療従事者等、様々な人権問題に関する誹謗中傷や差別に対して、決して、同調や傍観するのではなく、許さないと、差別に立ち向かう正しい力を身につけるために、引き続き、市民を巻き込みながら、人権を守るために積極的な情報発信が重要である。

令和4年度総合隣保館運営方針

総合隣保館の運営は、厚生労働省の隣保館設置運営要綱及び「部落差別の解消の推進に関する法律」「三木市人権尊重のまちづくり条例」「三木市人権尊重のまちづくりに向けた意識実態調査」及び総合隣保館活性化構想に基づき、以下の方針で事業を推進する。

- 1 我が国固有の人権問題である同和問題を基軸として、女性、高齢者、障がい者、子ども、外国人などさまざまな人権問題に取り組み、人権や社会福祉制度に関する幅広い知識の習得や情報の収集・発信を積極的に行う。
- 2 「人権尊重のまちづくり」の視点から、地域における人権の課題、生活上の課題を解決するための取組を推進する。
- 3 あらゆる差別解消への展望に立った啓発に向けて隣保館運営委員会をはじめ各関係機関と連携して推進する。
- 4 「部落差別の解消の推進に関する法律」について
 - (1) 第4条（相談体制の充実）の趣旨を踏まえ、総合隣保館の主事業である相談事業を人権、福祉、保健、経営、職業等生活全般にわたり更なる充実を図る。
 - (2) 総合隣保館の設置の趣旨を踏まえて、「人権尊重のまちづくり」のための啓発拠点として活動の強化・充実を図る。
- 5 社会調査研究については、高齢者世帯への訪問・面談調査を実施し、実情を把握したうえで、関係機関と調整を図りながら、生活の改善を図る。
- 6 地域住民の参加に支えられた人権にかかわるコミュニティーセンターとして、地域活動を推進するとともに、地域住民の交流活動を促進する。
- 7 新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた上で、改良や工夫を加えて事業を推進するとともに、人権を守るために積極的な啓発及び周知を図る。

令和4年度総合隣保館事業計画

1 総合隣保館運営委員会 (担当) 福寄

隣保館の運営方針及び主要な事業の企画等、館の適正かつ円滑な運営を図るため開催する。

回	開催日	内 容
1	4月15日	・令和3年度事業実施結果について ・令和4年度事業計画について
2	7、8月	・上期の事業実施状況について ・第39回総合隣保館文化祭について
3	3月	・令和4年度事業実施状況について ・令和5年度事業計画(案)について

2 相談事業 (担当) 橋田

地域住民に対し生活上の相談に応じるとともに、適切な指導助言を行う。

相談名	相談日	時 間
人権相談	随時	8時30分～17時
経営相談	毎週火・金曜日	10時～16時
職業相談	随時	8時30分～17時
教育相談	〃	〃
生活相談	〃	〃
その他	〃	〃

3 地域福祉事業 (担当) 橋田

地区住民の課題を把握し、地区住民の福祉の増進、生活の向上を図る取組を推進する。

4 啓発・広報活動事業

あらゆる人権問題の解決をとおして、お互いの人権を尊重し合える社会の実現に向けて以下の啓発・広報活動を実施する。

(1) 啓発活動

ア 同和教育セミナー (担当) 福寄

6月10日(金) 18:30～20:00 教育センター

- 「差別意識とは何か」

元関西学院大学講師 日野 謙一さん

6月17日(金) 18:30~20:00 吉川町公民館

●「パパは女子高生だった～自分らしく生きること～」

Like myself 代表 前田 良さん

6月24日(金) 18:30~20:00 教育センター

●「全国水平社創立100周年の歴史的意義」

リバティおおさか 大阪人権博物館長 朝治 武さん

イ 人権フォーラム (担当) 福寄

人権問題の解決を自らの生き方に密着したものであるとの認識に立ち自主的に研修する市民の集いとして実施する。

意見発表

10月18日(火) 18:30~20:00 総合隣保館

10月21日(金) 18:30~20:00 吉川町公民館

10月25日(火) 18:30~20:00 総合隣保館

内 容 1回に3人~4人の発表

ウ 文化祭記念講演会 (担当) 福寄

12月の人権週間に実施する意義と大切さを伝える場として、また、あらゆる人権問題を感性に訴え、人権意識の普及、高揚を図ることを目的として、文化祭において実施する。

記念講演会

期 日 令和4年12月4日(日)

講 師 部落解放同盟鳥取連合会女性副部長

坂田 かおり さん

エ 館外視察研修・フィールドワーク (担当) 福寄

同和問題をはじめとする人権問題について、知識と見識を深め人権感覚を磨く機会として実施する。

① 館外視察研修

期 日 令和4年9月予定

場 所 たつの市総合隣保館

※令和3年度中止のため同内容で調整中

② フィールドワーク

期 日 令和5年3月中旬予定

場 所 未定

(2) 広報活動 (担当) 赤松

① 隣保館だよりの発行

発行部数 毎月4,600部

配布先 市内全自治会(回覧)、公共施設、各支部等

5 教養文化及びその他に関する事業

地区住民の教養文化の向上と生活改善を図るとともに、周辺地域住民の参加により交流を促進することによって、人権・同和問題の解決を図る。

(1) 教養文化講座 (担当) 福寄

NO	教室名	講師	開催曜日	時間帯
1	手芸教室	嶋田千津子	毎月第2・4木曜日	13:30～
2	茶道教室	杉本さわゑ	毎月第1・3土曜日 毎月第4木曜日	9:00～ 13:00～
3	きらきら書道	藤原常貴	毎月第1土曜日	13:00～

(2) 生活講座及び教養文化講座関連事業 (担当) 橘田

フラワーアレンジメント教室(年2回予定)

期 日 令和4年12月、5年2月

場 所 総合隣保館

(3) 子ども教室 (担当) 橘田

幼稚園児、小学校低学年を対象にさまざまな体験をとおして、明るく、たくましく、やさしい心を育むことを目的に実施する。

① 夏休み子ども教室

夏休みの期間中、園児及び児童(小学生)を中心に、夏休み中の生

活をリズムカルに楽しく、充実したものにする。

② 土曜子ども教室

ものづくりに興味を持たせるとともに、体力づくり、知的好奇心の高揚、交流による仲間づくりをとおして人権感覚を培う。

③ 子ども教室ハイキング

子ども教室に参加している子どもたちの仲間づくりを図る。

(4) 総合隣保館文化祭 (担当) 福寄

豊かな人間関係と人権を大切にする共生の社会を築き、共に人権文化を創造していくことを目的とし、多くの市民が人権と差別について学び、交流する文化の祭典として人権週間の期間中に開催する。

開催にあたっては、運営委員会で内容を立案し、実行委員会で協議する。

期 日 令和4年12月3日(土)・4日(日)

6 社会調査(高齢者単独世帯への訪問活動) (担当) 橘田

地域の実情を的確に把握し、福祉の向上につなげるため、高齢者世帯への訪問・面談を実施する。

7 所蔵図書の整理について (主) 白髭

館で所蔵している図書資料についてデータベース化し、検索を容易にする。現在、検索方法について試作品を研究している。

令和3年度 総合隣保館利用状況 (令和4年3月31日現在) 【回数(回)、人数(人)】

月	主催事業				志染保育所				その他				合計			
	令和3年度		令和2年度		令和3年度		令和2年度		令和3年度		令和2年度		令和3年度		令和2年度	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4月	6	56			10	160			19	28			35	244		
5月																
6月	4	46	16	60	6	230	16	755	5	75	17	241	15	351	49	1,056
7月	9	62	12	71	15	750	17	1,341	22	436	30	430	46	1,248	59	1,842
8月	9	94	12	70	2	120	10	488	8	170	21	284	19	384	43	842
9月	1	5	13	108	8	390	15	1,036	6	59	19	306	15	454	47	1,450
10月	18	465	15	120	10	697	10	538	25	455	28	427	53	1,617	53	1,085
11月	13	135	12	365	14	1,060	9	596	32	564	26	393	59	1,759	47	1,354
12月	11	108	10	123	26	1,608	34	2,285	11	170	18	244	48	1,886	62	2,652
1月	9	80	15	89	4	240	18	1,005	19	274	18	301	32	594	51	1,395
2月	6	26	9	65	4	1,550	41	2,450	10	195	23	423	20	1,771	73	2,938
3月	5	37	8	55	19	790	29	1,281	13	295	28	409	37	1,122	65	1,745
合計	91	1,114	122	1,126	118	7,595	199	11,775	170	2,721	228	3,458	379	11,430	549	16,359

主催事業・・・相談事業、隣保館運営委員会、人権フォーラム、教養文化講座等 ※文化祭は除く

その他・・・教育事業（研修会、企画運営委員会等）、人権教育指導員研修会、啓発資料作成委員会、貸館事業（各種会議、空手、四半的弓道、ダンス等）